

建設産業情報（最近の動向）
（2014年10月1日～10月31日）

在外公館名 在サウジアラビア日本大使館

記入日 2014年11月9日

1. 現地の建設工事に係る経済情報（建設投資の状況に関する月例報告など）
該当なし

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向
該当なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	リヤド開発庁(ADA)は市民が新しいメトロを利用するための利便性を高める。市民は最寄りの駅の駐車場を24時間利用することができ、また駅から半径400m以内に住む自家用車の無い市民は交通管制センターに電話すれば無料のミニバンが迎えに来る。	1日 ア紙
2	中国鉄道建設公司(CRCC)がサウジアラビアでのプレゼンスを高めている。CRCCは2009年に都市村落省からAl-MashaaerメトロのEPC建設及びO&M(運行保守)契約を受注、2010年の巡礼時期から運行を開始している。さらに今年8月サウジ鉄道公社(SRO)からダンマン-リヤド間の貨物線リニューアル・プロジェクトを受注している。	1日 ア紙
3	モロッコの高速鉄道、オマーン初の鉄道などMENA地域では鉄道・メトロ計画が目白押しであり、金額で2千億\$、距離では鉄道33,700km、メトロ3,000kmに達する。世界的な運輸関連企業Louis Berger社のCrawford上級副社長はMENAが世界の市場であると述べている。10/20-22日にドバイでMENA Rail & Metroサミットが開催される。	9日 サ紙
4	サウジ鉄道公社(SRO)はジッダからジーザーンに至る660kmの海岸沿い鉄道計画のFS契約を締結した。計画では2025年までに乗客は113万人から195万人、貨物は180万トンから319万トンに増える。開発中のジーザーン産業都市は総工費750億SRで10万人の雇用創出が見込まれる。	10日 ア紙
5	MENA地域では、延長33,000kmの鉄道と、延長3,000kmのメトロ建設を計画している。事業費は総額2000億米\$である。	10日 エクサディア紙
6	Ibrahim M. Alalim 技師は、保水性ポリマーを使いリヤド北方200kmの砂漠に6200本の植樹を行う計画を政府当局に打診中である。同ポリマーは自重の600倍の	10日 ア紙

	保水能力があり、本人によればバーハの Daytona 農場で 2012 年から実験を行っており、2013 年にはオリーブを収穫したとのこと。	
7	SRO(サウジ鉄道公社)は、ダンマン-リヤド間的高速電車(300km/h)設置に関する実現可能性調査について、スペインのコンサル会社と契約を結んだ。契約額は 660 万 SR である。また、SRO 総裁によると、マッカとマディーナを繋ぐ列車(事業費 630 億 SR)は、2016 年第一四半期に運転開始する予定である。	12日 ハヤート紙
8	水公社(NWC)は、リヤドにおいて持続可能で安全な水道を設置し消費者の需要を満たすための事業のうち、一部が終了したと述べた。第一段階は 18 億 SR の事業費を投じて 460 万 m ³ を貯水する計画であり、現在 2.5 億 SR を投じて 60 万 m ³ の貯水事業が終了している。残りの事業も契約を締結し終え、18 か月で完成する予定である。第二段階としては、26 億 SR を投じて 600 万 m ³ の貯水事業を予定している。	15日 ア紙
9	アラムコは国内 11 か所に建設するスポーツ競技場についてプロジェクト管理の提案書をコンサルタント企業数社から受領した。4 社を選定し 3 社には各 3 競技場、1 社に 2 競技場の管理を委託する予定である。本体の建設工事は 9 社が選定され、工事金額は 1 競技場当たり 4 億\$、総額 44 億\$の見込み。	15日 MEED
10	GCC 諸国の建設事業のうち、39%はサウジの事業である。サウジ政府が大規模インフラや建設事業に多額の投資を行ったため、サウジの建設部門は 2014 年に 7.2%成長することが期待されている。	20日 サ紙
11	ジッダ州は、交通渋滞解消のためにプリンス・マジッド通りに 5 つの新しい交差点を設ける事業を計画している。事業費は 10 億 SR である。	21日 ア紙
12	SRO(サウジ鉄道公社)は、光ファイバー網を用いて鉄道路線のコントロールを行う業務(第一段階)に関する契約を国内(サウジ)の企業と結んだ。事業費は 4719 万 SR である。契約期間は 5 年で、機材調達、設置、訓練、維持管理を含んでいる。	21日 ア紙
13	中東北アフリカ(MENA)地域で現在建設中或いは計画されている鉄道プロジェクトは総額 3 千億\$に達する。これは MEED MENA Rail & Metro Summit で明らかにされたものであるが、このうちサウジアラビアは 1 千億\$、UAE は 300 億\$を占めている。Fluor UAE の Beek マネージャーは講演の中で、砂漠の砂対策が技術的な難問であると語った。	21日 サ紙
14	最近東ジッダ地区の中央に悪臭を放つ湖が出現した。近隣住民は、ハラマイン鉄道の工事によって掘られた穴から下水が流れ出していると言った。ジッダ市当局は、民間防衛組織や運輸省と協力し、対処する予定。	22日 ア紙
15	サウジ水資源公団(SWCC)は Haql 3、Duba 4 及び Al-Wajh 4 の3件の造水プラントの入札期限を 10 月 23 日から 11 月 24 日に延期した。プラント能力はそれぞれ 2 百万ガロン/日(MIGD)。2020 年までに GCC が必要とする追加造水量は 2,233MIGD とされ、サウジアラビアがそのうちの 40%を占める。	22日 MEED

16	NWC は、リヤド、ジッダ、マッカおよびタイーフで行った水道管修繕によって、過去 5 年で 4 億 3300 万 m ³ (26 億 SR 相当)以上の水を節約した。NWC は設立以来、4 都市で 35 万 8000 件の漏水に対処した。	27日 サ紙
17	NWCは昨日(28日)、アラムコのリヤド製油所に日量20,000m ³ の処理水を供給する業務を締結した。	29日 リヤド紙 エクサディア 紙

(注：ア紙：アラブニュース紙、サ紙：サウジガゼット紙)

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

労働に関する報道	
11日	サウジ外務省は在外公館の現地契約事務員をサウジ人化し、そのうち3分の1は女性とする方針である。ハーリド外務副大臣は、サウジ人率をアラブ諸国では100%、非アラブ国では75%にすると述べた。(ア紙)
12日	サウジ人の新卒受け入れのために、毎年30万の職が必要となる。(サ紙)
15日	労働省は、被雇用者の権利を守り、雇用者を教育するためのウェブプログラム「TARAF」を開始した。(ア紙)
15日	サウジ人は、マッカで観光業や小売業で多くの雇用が生み出されているにもかかわらず、月給が安いことを理由に働きたがらず、より給料の良いジッダで働くことを好む。(ア紙)
17日	リヤドのモールでの買い物客に調査を行ったところ、66%は午後9時に店を閉めることに反対している。(サ紙)
23日	労働者不足により、デーツ（特にAjwa）の価格が約25%上昇する。(ア紙)
23日	サウジで働く外国人労働者が抱える主問題の一つが賃金支払いの遅れである。家賃や車のリース、自国にいる家族への仕送りがあるため、給料日に給料が支払われることが重要である。(サ紙)
27日	労働省は、今週から外国人労働者の扶養家族は、イカーマの変更無しで私立国際学校に勤務することが可能となると述べた。また、これによって海外からの新規雇用を縮小し、ビザにかかる時間とお金を節約することになると述べた。(サ紙)
28日	労働省は、イカーマの変更無しで女性が私立学校に勤務できるようになる仕組みは確立されていないと述べた。この仕組みについてはまだ提案段階である。(ア紙)
31日	労働省は、来週から500人以上の民間企業に対し、賃金保護システム(WPS)を実施する。(ア紙)
(注：ア紙：アラブニュース紙、サ紙：サウジガゼット紙)	